

平成 29 年 2 月 28 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

東海地域中核産業支援投資事業有限責任組合による すぎやま工業(株)への資本性劣後ローンの実施について

- 特定投資業務を活用した地域企業の成長戦略支援 -

株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:柳正憲、以下「DBJ」という。)、株式会社十六銀行(代表取締役頭取:村瀬幸雄、以下「十六銀行」という。)、および十六リース株式会社(代表取締役社長:内田篤)が共同出資する東海地域中核産業支援投資事業有限責任組合(注1)(以下、「当ファンド」という。)は、すぎやま工業株式会社(本社:愛知県岩倉市、代表取締役社長:杉山豊隆、以下「当社」という。)の工場移転・集約による競争力強化事業を、メザニンファイナンス(注2)を活用(資本性劣後ローン)し、支援しました。

当社は、昭和 23 年創業のフォークリフトをはじめとする産業車両向けのギアを主製品とする精密切削部品生産事業者です。

本件は、岐阜県輪之内町での新工場建設および同工場への生産機能の集約により、地域企業の競争力が高まることが期待されることから、DBJ の「特定投資業務」を活用した資本性資金の供給によってサポートするものです。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金にかかる市場の発展や地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

(注1) 当ファンドは、岐阜県・愛知県に顧客基盤を有する十六銀行と DBJ が連携し、優先株式や劣後ローン等の金融サービスを組み合わせながら、製造業を中心とする地域の中堅・中小企業へのサポート体制を目的に、平成 28 年 1 月に設立されました。

(注2) 「メザニンファイナンス」:メザニンとは「中二階」を意味します。企業の資本と負債の中間的性質を有するファイナンスであり、劣後ローン、優先株式等の形態をとり、株式(議決権)の希薄化を回避して資本性資金を調達することが可能となります。

【お問い合わせ先】

東海支店業務課 電話番号 052-589-6862